

ピックアップ!【優良受注企業紹介】
ビジネスパートナー

高精度・低コスト・納品スピードは三位一体 多品種少量生産に特化するパーツ専門メーカー

株式会社 アイオー精密

モノづくりに臨むスタンスをお聞かせください。

昭和52年の設立以来、当社は、さまざまな工業用パーツ（精密機械部品）を手がける専門メーカーとしての志とプライドを掲げて歩んできました。世界的に秀でた日本のモノづくりの根幹を支えるというスタンスに立ち、一つひとつのパーツに飽くなき創意と情熱を注ぎ込む企業姿勢は不変のものです。

どのような産業分野、技術領域に対しても意欲的な姿勢を打ち出して受注機会を広げ、多彩なオーダーに応え続けています。言うなれば「多品種少量生産への特化」がメーカーとしての当社の姿勢を表すキーワードです。研究開発部門向けの試作パーツをはじめ、生産技術部門向けのメンテナンス用パーツ、そして組立装置部品、伝導部品、各種治具など製品は多岐にわたります。

これらの中で特注仕様が占める割合は極めて高く「1個だけ」もしくは「今回限り」という依頼が数多く寄せられています。もちろん要求されるレベルは高く、そこが技術陣の腕の見せ所です。ある程度のロットを処理できる能力も備わっていますが、いわゆる汎用製品づくりとは異なる次元でも幅広く対応できるのが当社の強みなのです。精度・コスト・納品までのスピードを三位一体で追求、相当数の取引先との信頼関

係を築き上げています。

花巻市の東部に広がる、花巻機械金属工業団地に移転したのが昭和56年7月でした。これまでに増資は6回を数え、経営基盤の拡充にも努めてきました。また平成12年4月には東京営業所を開設して受注機会の拡大と、取引先へのフォロー強化を図っています。そして現在は生産本部・特注パーツ工場・標準パーツ工場・東和工場（伝導品）の4拠点で操業中です。

経営環境を、どう捉えていますか。

とりわけ液晶・半導体・自動車関連といった景気の牽引的な業種では、研究開発ならびに設備投資へのマインドが持続的な基調にあるようです。こうしたマクロ的な動向を反映する形で、業績は安定的に推移しています。

1日当たりの受注案件は4000件ほどに上る場合もありますが、この数字は当社としては多くも少なくもなく、ごく普通の稼働状況だと冷静に受け止めております。また成長著しい中国市場、さらにはアメリカ市場への輸出を見込んだ生産活動に活気が見られる波及効果として各種パーツの需要が伸びているという印象です。

コンスタントにオーダーが来るということは相手先からの信頼の証なのだと、謙虚に受け止めて真摯なモノづくりを

実践中です。直接取引だと、およそ1千社に口座を開設していただいております。その一方、工業用パーツを扱う商社を介して供給するケースも多く、こうした場合は、およそ3万社が当社製品のユーザーだと把握しています。

ほぼ100%の取引先が首都圏、中部地方、そして関西以西に立地しています。花巻空港が近く、高速道路も新幹線も使えるというように交通インフラの充実した当地では、地理的なハンディをまったく感じません。「少しでも早く!」という場合には社員が新幹線や飛行機に飛び乗って製品を届ける...というスクランブル態勢で納品を完了させます。

現場の雰囲気は、いかがですか。

あれこれ知恵を絞ったり、機械操作における習熟度を高めたり、といった地道な取り組みを通し、新しい世代の人たちがモノづくりの素晴らしさを体感している点を強調しておきたいですね。

中途採用でも新卒採用でも「こういう仕事がしたい」と強い動機を語れる人材と出会えるのが嬉しく思えます。アナログ的な要素とデジタル的な要素。これらの利点を上手く融合させて確かな心構えと技術が継承されるよう、環境を整えてあげること。それも経営者としての一つの責務だと自覚しています。

人的資源が充実すれば、次代へ向けて新しいビジョンを実践できる可能性も高まるでしょう。ともあれ、当面は地道にコツコツと日々の仕事に徹しよう。そう呼び掛けて意思統一を図っています。

メーカーとしての主張と実践は。

まず「造れないものは存在しない」「出来ない」は禁句」という意識を徹底させています。高精度パーツのスピード納品が当社の生命線であり最大のセールスポイントなのです。

24時間・365日の稼働態勢が組まれています。こちらの都合を、とやかく言わないのが取引先への基本姿勢です。金属や樹脂の切削加工・特殊加工・研削加工・熱処理・表面処理、さらに品質検査までのフルライン工程が社内で完結するようになっています。見積もり・納期設定の段階から始まる一連の流れがワンストップで済むメリットは大きいです。

それぞれの工程で用いる機械・設備は多種多様で数え切れないほどです。



もちろん、どれもがハイレベルな仕様で、マシンオペレーターの巧みな操作によって直線・曲線・孔の織り成す多彩な形状が描き出されます。

オンライン受注システムを介して届けられたオーダー図面にはバーコードが付され、作業の進み具合が逐一把握できるようになっています。また、部門ごとの収益状況を1時間刻みで確認できるようにするなど、原価管理システムも機動的に運用しています。

オーダーの内容が決まると「ヨイ、ドン」で始まるモノづくり。いくつものパーツを手がけてきた技術的な対応力はノウハウの蓄積に結び付くとともに、社員の自信と使命感の源となっています。

生ぬるい安定志向や事なかれ主義では絶対にとまらない厳しい仕事の連続ですが、ピンと張り詰めた空気の中で成果を出す喜び、達成感に勝るものはないと私は信じます。手塩に掛けたパーツに生命を注ぎ、より良い調達を可能とするプロ集団。こうした点に当社の存在価値を見出していたければ光栄です。



企業概要

設立：昭和52年9月
代表者：鬼柳 一宇
所在地：岩手県花巻市東十二丁目
19-10-54
電話番号：0198-23-1411
FAX：0198-22-7041
URL：http://www.
aio-precision.co.jp/
E-mail：eigy@
aio-precision.co.jp

資本金：175,346,000円
従業員数：270名

事業内容：各種工業用パーツの製造
(カタログ販売向けFA用メカニカルパーツ・カタログ販売向け金型用パーツ・研究開発部門向け試作パーツ・生産技術部門向けメンテナンスパーツ・組み立て装置部品・伝導部品・各種治具など)

主要取引先：(株)ミスマほか、約1千社

主要設備：切削加工機(旋盤・フライス盤各種)、特殊加工機(NC歯切り盤ほか各種)、CAD/CAMシステム(3次元・2次元対応型、各種)、研削加工機(センターレス研削盤・円筒研削盤・平面研削盤・内面研削盤、各種)、熱処理設備各種、表面処理設備各種、検査機器各種、測定機器各種

事業拠点：生産本部・特注パーツ工場・標準パーツ工場・東和工場・東京営業所
中国現地法人(無錫市)